



2023年度

(2024年3月期)

第1四半期

決算報告

NSユナイテッド海運株式会社

2023年7月31日

目次

| | |
|-----------------|-------------|
| 1. 第1四半期決算の概要 | …………… p.2-3 |
| 2. 2023年度業績見通し | …………… p.4-5 |
| 3. 活動状況 ～ESG経営～ | …………… p.6 |
| (ご参考) 財務アウトルック | …………… p.7 |

1. 第1四半期決算の概要

| 【連結】 (単位：億円) | 2022年度 | | | | | | | 2023年度 | 前年度 同期比 |
|----------------------|--------|-----|-------|-----|-----|-------|-------|------------|------------|
| | 1Q | 2Q | 上期 | 3Q | 4Q | 下期 | 通期 | 1Q | |
| 売上高 | 623 | 685 | 1,308 | 660 | 540 | 1,200 | 2,508 | 554 | ▲ 69 |
| 営業利益 | 112 | 95 | 207 | 93 | 25 | 118 | 325 | 58 | ▲ 54 |
| 外航部門 | 113 | 91 | 204 | 83 | 14 | 97 | 301 | 55 | ▲ 57 |
| 内航部門 | ▲ 1 | 4 | 3 | 10 | 11 | 22 | 24 | 3 | + 4 |
| 経常利益 | 131 | 110 | 241 | 73 | 21 | 93 | 334 | 79 | ▲ 53 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 105 | 89 | 194 | 59 | 22 | 82 | 276 | 62 | ▲ 43 |

BCI 5TC市況推移(2022年4月～)



1. 第1四半期決算の概要

外航海運 世界的にインフレ、金利上昇が進み経済減速が懸念される中、期初はゼロコロナ政策を終了させた中国経済への期待が市況を下支えしていましたが、5月以降回復の遅れが指摘され軟調な展開となりました。ドル円相場は日米金利差拡大等を背景に円安ドル高が加速し営業利益を押し上げるも、前年同期比で約57億円の減益となりました。

ドライバルク : 新型コロナウイルス感染症に関する港湾規制の正常化に伴い、滞船が減少することで実質的な船腹供給の増加要因となりました。また不動産市況の低迷、粗鋼生産の伸び悩みなど中国経済の不透明感が海上輸送需要の下押しにつながり、市況は下落基調で推移しました。市況は想定を下回りましたが、従前より中長期輸送契約を進めていたことで安定収益を確保いたしました。

タンカー : 大型LPGタンカーは、中東、米国積みともに荷動きが一定数見られたことで、船舶需給は比較的タイトな状況が続き、期を通して高値圏で推移いたしました。

内航海運 堅調な鉄鋼原料輸送に対し、自動車生産向け鋼材、電力関連貨物輸送が減少し、海上輸送需要はほぼ横ばいとなりましたが、燃料価格の下落により費用が減少し営業利益は約4億円の増益となりました。

ドライバルク : 鋼材輸送、電力関連貨物輸送が減少傾向となりましたが、コークスを中心とした鉄鋼原料輸送が堅調に推移し、荷主とのコミュニケーションに注力することでスポット輸送需要を取り込むことができました。

タンカー : 効率運航に努めたものの、LPG国内需要の減退を受け、輸送量は前年同期比で減少しました。

以上により、当第1四半期の連結業績は前年同期比で営業利益では約54億円、経常利益では約53億円、四半期純利益では約43億円の減益となりました。

2.2023年度業績見通し

| 【連結】 (単位：億円) | 2022年度 通期 (実績) | 2023年度 (今回予想) | | | 前期比 増減 通期 | 前回 予想比 通期 |
|---------------------|----------------------|---------------|-----|--------------|-----------------|-----------------|
| | | 上期 | 下期 | 通期 | | |
| 売上高 | 2,508 | 1,047 | 894 | 1,941 | ▲ 567 | +151 |
| 営業利益 | 325 | 99 | 57 | 156 | ▲ 169 | +9 |
| 経常利益 | 334 | 102 | 44 | 146 | ▲ 188 | +14 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 276 | 82 | 41 | 123 | ▲ 153 | +13 |

| | 2022年度 通期 | 2023年度 | | | 前回予想 2023年度通期 |
|-----------------|--------------|----------|----------|----------|------------------|
| | | 上期見通し | 下期見通し | 通期 | |
| 為替 | ¥134.67 | ¥136.33 | ¥130.00 | ¥133.17 | ¥130.00 |
| 燃料油価格 (全油種平均) ※ | \$655 | \$543 | \$549 | \$546 | \$587 |
| 市況 ケープサイズ | \$14,726 | \$15,000 | \$13,000 | \$14,000 | \$18,000 |
| パナマックス | \$17,677 | \$11,000 | \$10,500 | \$10,750 | \$14,625 |
| スモールハンディ | \$17,637 | \$9,500 | \$9,500 | \$9,500 | \$12,500 |

※ 為替は1円の円安で約3億円の経常増益 (2Q-4Q)

燃料油価格は脱硫装置を搭載した船舶で消費する高硫黄C重油を含む全油種平均価格

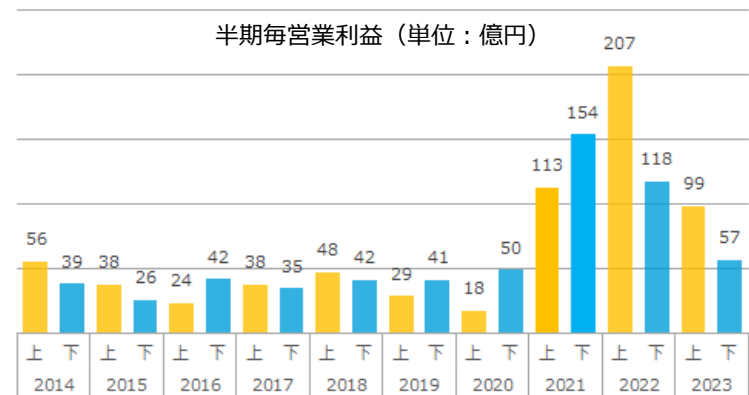
2.2023年度業績見通し

上期業績の見通し：円安進行により上方修正を見込みます

- ・ 上期の海上輸送需要は中国経済の回復が遅れていることで第1四半期に引き続き低調に推移すると予測されます。大型船（ケープサイズ）市況は中国のマクロ経済政策動向やそれに伴う経済情勢に応じて振幅が大きくなることも想定されますが、引き続き長期契約を基盤とする安定収益の確保に努めてまいります。中小型船市況はロシア・ウクライナ情勢が激化することで穀物輸送への影響が懸念されます。その他、米中貿易摩擦を含めた地政学的リスクに伴うトレードパターンの変化を見定め、最適な配船、運航に注力してまいります。
- ・ 為替影響としましては日米金利差等により想定を上回る円安が収益を押し上げる見込みです。上期連結純利益予想は前回2023年4月28日付けで公表いたしました49億円に対し82億円へ上方修正いたします。

通期業績の見通し：長期貨物輸送契約を軸に安定収益の確保を見込みます

- ・ 低水準な新造船の竣工状況、脱炭素を意識した減速航海などを背景に船腹供給圧力は限定的となる見通しですが、年明けは季節的な要因で一時的に市況の軟化が予想されます。
- ・ 2023年度連結営業利益は、長期貨物輸送契約を軸とした安定収益を積み上げることで下期57億円、通期156億円を予想します。また、連結当期純利益は通期123億円を予想しており通期ベースでは各段階利益で当初想定した収益を確保する見通しです。



配当予想：配当性向は年間で概ね30%を目途としています

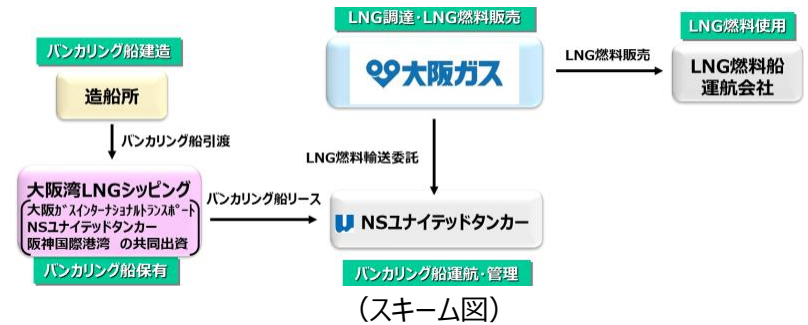
中間配当：一株当たり65円としていた配当予想を一株当たり80円に増配修正します。

期末配当：一株当たり80円、中間配当と合わせた年間配当は一株当たり160円を予想します。

| 中期経営計画目標 (2020年度～2023年度) | |
|-----------------------------|---------|
| 営業利益 | 100億円以上 |
| ROE | 10.0%超 |
| Net DER | 1.0倍以下 |

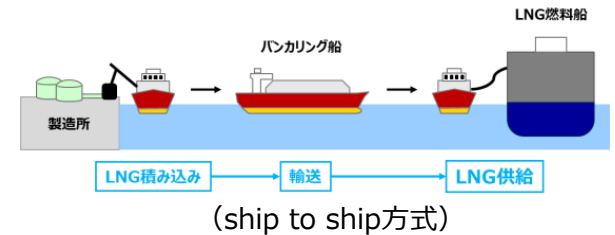
3.活動状況 ～ESG経営～

大阪湾・瀬戸内エリアにおける ship to ship方式による船舶向け LNG燃料供給事業に参画



NSユニテッド海運株式会社の100%子会社であるNSユニテッドタンカー株式会社はLNG内航船運航の豊富な実績を評価され、大阪湾・瀬戸内エリアにおいて大阪ガス株式会社が行うship to ship方式による船舶向けLNG燃料供給事業に参画します。

本事業は国土交通省の令和5年度港湾機能高度化施設整備事業に採択されました。今後は右記スキームにより3社共同出資で設立した大阪湾LNG SHIPPING株式会社が補助金交付申請を行い、バンカリング船の建造を行う予定です。NSユニテッド海運グループは、今後も海運業界の低・脱炭素化の実現に貢献してまいります。



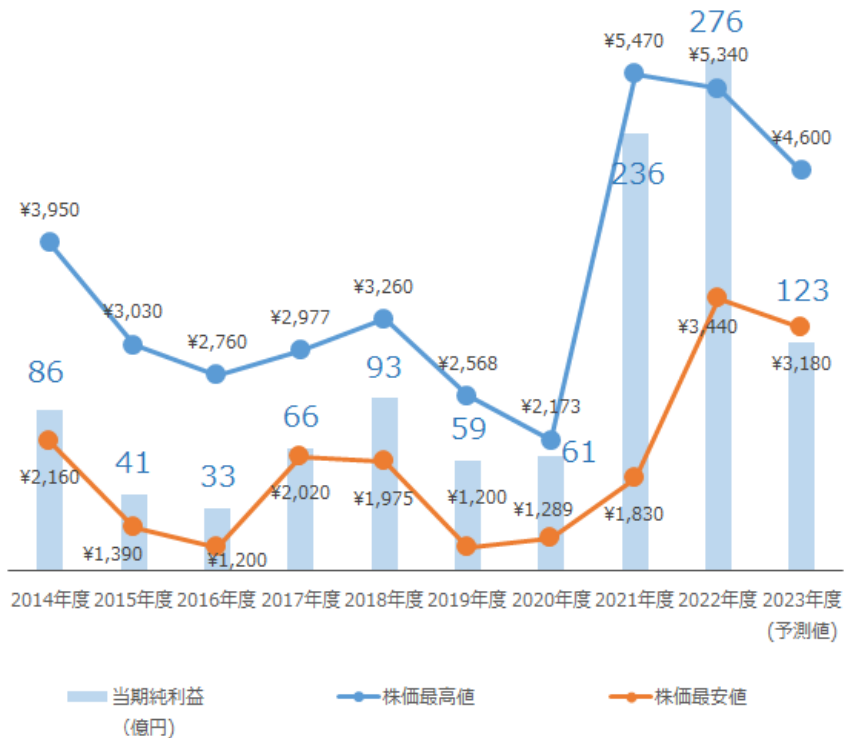
「FTSE Blossom Japan Index」構成銘柄に選定されました

本インデックスは、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、コーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野で評価されており、ESG（環境、社会、ガバナンス）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。また、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用され、構成銘柄である企業は環境、社会、ガバナンスに関する様々な基準を満たしているとされています。

なお、本インデックスは、公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がESG投資の運用に採用しているベンチマークの一つです。

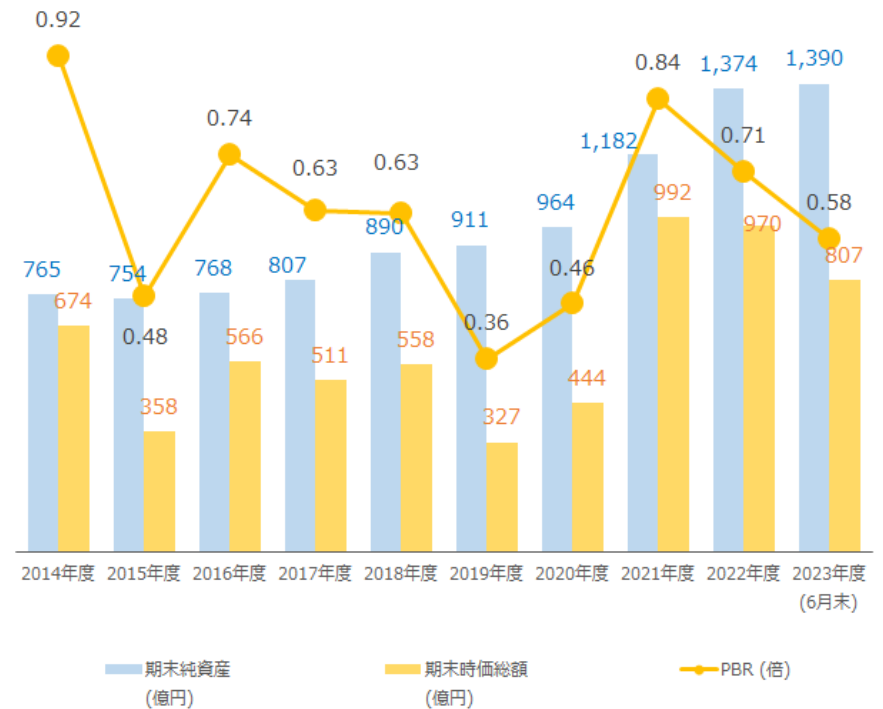
(ご参考) 財務アウトック

当期純利益と期中株価の推移



2023年度
 ※当期純利益は予測値
 ※株価は4-6月実績

期末純資産・時価総額

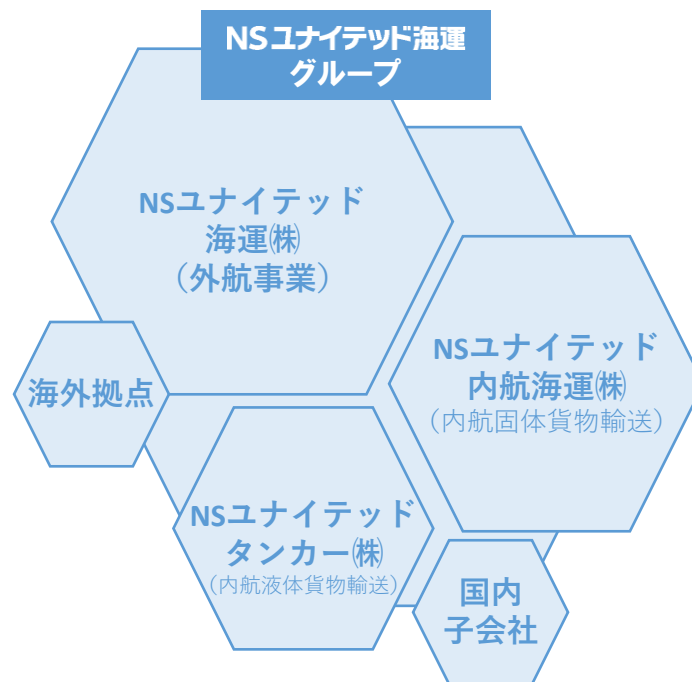


NSユニテッド海運株式会社

NSユニテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<https://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411